

令和6年度当初予算 概要

令和6年2月
財政局

【問い合わせ先】
財政局 財政課
緒方（課長）、大田（係長）
TEL 093-582-2002

1 令和6年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和6年度 当初予算案(A)	令和5年度 当初予算(B)	増減 (A) - (B)
一般会計	88,053	77,962	10,091
公債償還 特別会計	172,523	168,701	3,822
合計	260,576	246,663	13,913

※職員給与費を除く

2 主要施策

【令和6年度 予算の方針】

市債残高の高止まりや市税収入の伸び悩み、福祉・医療関係経費の増加などに加え、昨今の外壁落下など公共施設の老朽化対策、国際情勢の悪化等に伴う原油価格・物価高騰の影響により、本市の財政は更に厳しい状況となることが見込まれる。強い危機感を持って財政運営に臨み、令和6年度予算編成にあたっては、北九州市を成長軌道に乗せるために新ビジョンに沿った施策への重点化を図る。「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」を支える財政基盤の確立に向け、引き続き税及び税外債権の適正な管理を推進するとともに、市税手続きの電子化などDXの推進により、利便性・効率性の向上に取り組む。また、未利用地の売却促進・資産の有効活用、安定的な資金調達を推進する。

【一般会計】

令和6年度 予算の基本的な考え方

1. 予算編成等における取組 37百万円(対前年度 ▲14.2%)
 - ①新たな予算編成方針
新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)に沿った施策への重点化を図るとともに、全ての事業について歳入歳出両面から事業の必要性を検証するなど、徹底した市政変革を進めていながら、予算編成に取り組む。
 - ②財政の見える化の取組
市民に、本市の財政状況や予算についての理解を深めていただくため、「わかりやすい北九州市の財政(パンフレット)」を作成する。また、「財務書類(バランスシート等)」の作成や、市ホームページへの予算書や中期財政見通し等の掲載を引き続き行うなど「財政の見える化」の取組を進めていく。
2. 収入の確保・資産の有効活用等における取組 5,545百万円(対前年度 +31.7%)
 - ①市税収入等の確保
市税については、課税客体の正確な把握など、適正・公平な課税を行うとともに、高額事案等を中心に滞納整理を促進し、市税収入の確保に努める。
また、業務委託やシステム構築等を通じて、事務処理の効率性を高め、税外債権を含めた市債権の適正な管理を推進するとともに、DX(デジタルトランスフォーメーション)にも積極的に取り組み、各種手続の利便性向上や作業の更なる効率化・省力化に向けた業務改革を進める。
 - ②未利用市有地の処分及び有効活用等
自主財源の確保のため、未利用市有地の積極的な商品化を進め、売却促進に取り組むとともに、個々の土地の特性に応じた活用を図るため、事業用定期借地等による貸付けなどを実施する。
また、商品化及び活用されるまでの未利用市有地の維持管理を行う。
 - ③ESG債の発行
ESG投資に関心が高い新たな投資家の獲得、本市のSDGsに関する先進的な取組の理解の促進、財源確保の多様化や安定化を図るため、サステナビリティボンド「北九州SDGs未来債」を継続発行する。
3. 公債償還特別会計繰出金 67,735百万円(対前年度 +2.7%)
4. 公営企業費 7,111百万円(対前年度 ▲0.4%)
5. 北九州市SDGs未来基金積立事業 332百万円(前年度 332百万円)
6. 定額減税調整給付金事業 6,993百万円(新規)
低所得者支援及び定額減税を補足する給付として、定額減税に伴う調整給付金を支給するもの。

【特別会計】

- ◎ 公債償還特別会計 172,523百万円(対前年度 +2.3%)

3 主な事業

「彩りあるまち」の実現

●彩りある「空間」をつくる

新規・市税手続の電子化事業

20百万円

市民や事業者が行う軽自動車税に関する手続きについて、「書かない」「待たない」「行かなくていい」を実現するため、二輪車等の新規取得の申告や継続検査における納税確認等の電子化を実施する。